

故障かな？と思ったら

Model: RM-5000 シリーズ、RM-6000 シリーズ

■機器の異常

症状・表示	FAULT	原因	対策
電源が入らない	-	電源スイッチがオフ	電源スイッチをオンにしてください。
		ヒューズが断線	断線の原因を調査し対策後交換してください。
		電源ケーブルの誤接続	端子台を確認し誤配線を修正してください。
		電源システムの異常・瞬断	定格電圧を供給してください。 無停電電源、電源ラインフィルタ、絶縁トランス等の見直し、追加等の措置を講じてください。
異常な動作をする	消灯	ケーブルの異常(断線・未接続・短絡)	本器及び周辺の関連機器を含めた配線の確認をしてください。
		突発的なサージノイズ等による影響	電源をOFFにし、再起動を行ってください。 頻繁にこのような症状が起こる場合は、適切なノイズ対策を実施してください。
感度校正ができない	消灯	校正ガス濃度	適切な校正ガスを用意してください。
		センサの感度劣化	センサの交換をしてください。

■指示値の異常

症状	原因	対策
指示値が上がった(下がった)まま元にもどらない	センサのドリフト	ゼロ調整(エア調整)を行ってください。
	干渉ガスの存在	溶剤等の干渉ガスによる影響は、完全に無くすことは困難です。除去フィルタなど対策については弊社営業部迄ご連絡願います。
	スローリーク	検知対象ガスが微量に漏れている可能性があります(スローリーク)。放置しておく危険な状態になる可能性があるため、ガス警報時の対応と同等の対応をし、処置を施すようお願いいたします。
	環境の変化	ゼロ調整(エア調整)を行ってください。 特に、ガルバニ電池式は気圧の影響を受けます。
ガス漏れなど、検知ポイントに異常がないのにガス警報を発する	干渉ガスの存在	溶剤等の干渉ガスによる影響は、完全に無くすことは困難です。除去フィルタなど対策については弊社営業部迄ご連絡願います。
	ノイズの影響	電源をOFFにし、再起動を行ってください。 頻繁にこのような症状が起こる場合は、適切なノイズ対策を実施してください。
	環境の急変	本器は急激な環境変化(温度など)があると、追従できずに影響を受けて、場合によっては指示警報を出します。 環境が頻繁に急変してしまう場合はご使用頂けませんので、お客様にて何らかの対策を講じて頂くようお願いいたします。
応答が遅い	ダストフィルタの詰まり	ダストフィルタを交換してください。
	吸引側又は排気側チューブの折れ、詰まり	不具合の箇所を修復してください。
	吸引側チューブ内で結露が発生している	不具合の箇所を修復してください。
	センサ感度の劣化	新しいセンサユニットに交換してください。
感度校正ができない	校正ガス濃度が不適切	適切な校正ガスを用意してください。
	センサ感度の劣化	新しいセンサユニットに交換してください。